

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	施策の成果指標又はムトス指標
	安心していきいき暮らせる	安心して暮らせる高齢者の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのように貢献しましたか	4年間の振り返り	介護を受けている方の身体や寝具の衛生を保つことに役立っている。
	後期に向けた課題	敷布団の使用が減少しているため、全体としては布団丸洗いの必要性が低下しつつある。
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	事業者連絡会等で、利用推進への協力を呼び掛けている。
	後期に向けた課題	民生委員会他関係諸団体の会議でも利用推進への協力を呼び掛ける。
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	民間事業者の業務を利用することにより、効率良く事業を実施している。
	後期に向けた課題	利用者にとって更に効果的な事業となるよう、内容を再検討し、相対的にコストを低減させる。
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	受益者、市とも少ない負担で生活支援に役立っている。
	後期に向けた課題	主として民間事業者の業務の中で実施されており、市は費用負担のみ、関与の程度は適切である。
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	民間業者の業務を利用している。 市の関与は必要最低限となっている。
	後期に向けた課題	基本的には従来の方法を継続しつつ、更に利用者増加を図る。
全体を通じて	4年間の振り返り	従来からの利用者には好評だが、利用者数自体は伸び悩んでいる。
	後期に向けた課題	事業内容や、利用申請方法を再検討し、介護者が利用しやすいように工夫する。

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要がありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要がありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------